

# ヤマメを大きく育て

## 美郷町南郷 園児ら放流

美郷町南郷区を流れる小丸川で7日、上小丸川漁業協同組合（小路文喜組合長、45歳）によるヤマメの放流が行われた。地元幼稚園一貫敷園校・美郷南学園（清水健史校長、1歳8人の園児と小学1、2年生計28人も参加。「大きく育てね」との願いを込め、ヤマメを清流へ放った。

資源保護を目的に実施しており、稚魚村から運びきた10月前後の稚魚3万5千匹を約30期生で放流。児童たちは、同区神門尾郷地区の河原で約千匹を放流した。

小路組合長（80）は、ヤマメの生態や資源を守るための森湖期間に伸ばしながら「川をきれいにすることが魚のためにも、人のためにもなる」と説明。児童たちは、ヤマメ特有の黒い斑が鮮やかな稚魚の

観察も楽しんでいた。放流を終えた1年の花宮百世さん（7）は「早く釣りたい」と笑顔。小路組合長は「取り組みを通して川を好きになってくれれば」と目を細めた。  
（日向文彦・鬼塚功一）



「大きく育てね」と願いを込めてヤマメの稚魚を放流した美郷南学園の児童たち